

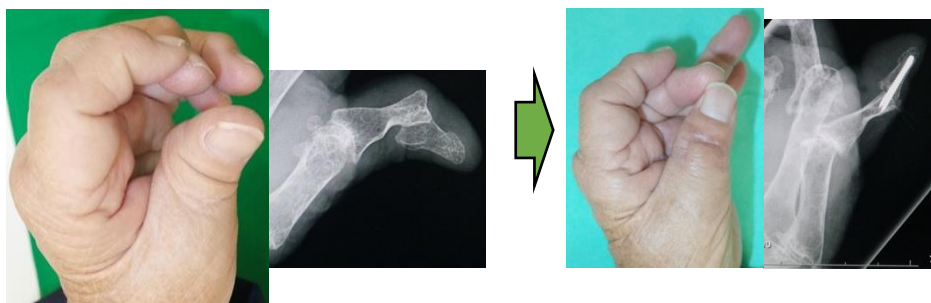
数回にわたって整形外科疾患の話題をお届けします

リウマチセンターだより

整形外科シリーズ 02. ～手指の障害について～

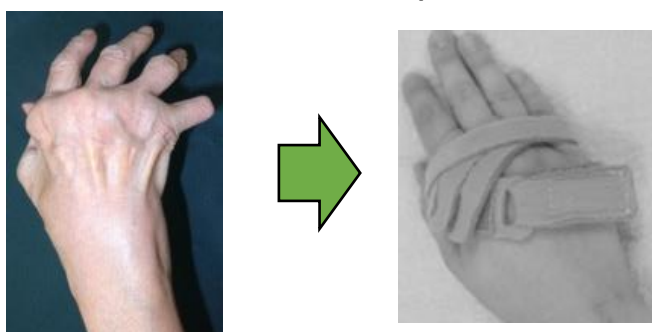
整形外科：中山 健太郎

- 1) **母指の変形**：一番多い変形は母指ボタン穴変形(親指の第一関節が反ってしまう変形)です。皮膚の障害を生じやすく、感染(膿が出たり)を起こしやすいので注意です。



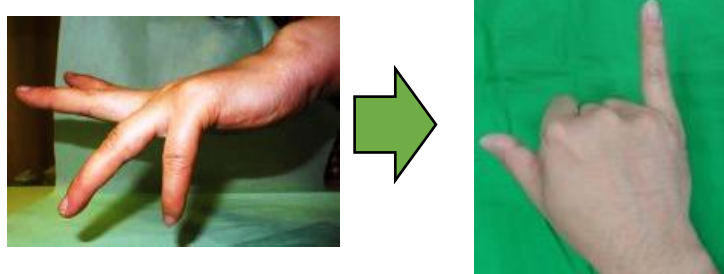
変形が軽度であれば装具による固定により関節炎の沈静化を図ります。重度の場合はガーゼ等で保護したり、手術にて第一関節を固定したりします。

- 2) **母指以外の指の変形**：尺側偏位(小指側に曲がってしまうこと)が最多です。



変形が軽度であれば柔らかい装具により悪化の防止を行います。重度の場合は生活に及ぼす影響を考え手術も検討します。

- 3) **手指伸筋腱(指を伸ばす腱)断裂**：主に手首の関節の障害が原因で起こります。



小指を一本だけ伸展(伸ばす)できるかチェックするテストが有用です。伸ばせない場合は伸筋腱断裂の初期である可能性があります。さらなる断裂を起こさないように診察を受けることが必要です。



ウイルス感染の予防に努めましょう！

胃腸炎・インフルエンザの流行期となりました。うがい・手洗いを行い、感染予防に努めましょう。発熱を認めた場合は早めにかかりつけ医にご相談ください。